

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	開講キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	子どもの理解と援助						授業形態	演習	
科目コード	750161	単位数	1単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	福富 隆志							ICT活 用	○
授業概要	<p>本授業の目的は、子どもを理解するうえでの基本的な考え方やその方法、子どもの理解に基づく保育者の援助や態度の基本について理解することです。</p> <p>子どもには一人一人に発達のプロセスがあり、保育実践では子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することが必要です。そのために授業では、子ども一人一人を理解するために必要な観察の視点や保護者との連携について、また、子どもの育ちにかかわる環境について考え、子ども理解に基づく発達の援助について解説していきます。</p>								
関連する科目	「保育原理」を事前に、「保育内容総論」を同時に受講しておくことが望ましい。履修後は、「幼児理解」を履修することが望ましい。								
授業の方法と進め方	講義に加えて、映像視聴、課題の実施、意見交換や討論などを行います。みなさんの積極的な参加を期待しています。								
授業計画【第1回】	1. 子ども観と保育観 子ども観や保育観（子どもや保育とは何かについての考え）について学ぶ。								
授業計画【第2回】	2. 子ども中心の教育実践とは 子ども中心の教育実践とは何かについて学ぶ								
授業計画【第3回】	3. トラブルの意義と指導 葛藤、つまづき、いざこざなどのトラブルの意義と指導について学ぶ								
授業計画【第4回】	4. 保育における評価 保育における評価のあり方について学ぶ								
授業計画【第5回】	5. 遊びの意義と指導 遊びの意義と指導について学ぶ								
授業計画【第6回】	6. 発達段階に応じたかかわり 発達段階に応じたかかわりについて学ぶ								
授業計画【第7回】	7. 発達障害を持つ子どもへのかかわり 発達障害を持つ子どもへのかかわりについて学ぶ								
授業計画【第8回】	8. 保育における相談 主に保護者に対する相談活動について学ぶ								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践において、実際に応じた子ども一人一人の心身の発達や学びを把握することの意義について理解する。 2. 子どもの体験や学びの過程において、子どもを理解するうえでの基本的な考え方を理解する。 3. 子どもを理解するための具体的な方法を理解する。 4. 子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。 								
学位授与の方針 (DP) との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)								

授業時間外の学習 【予習】	指定された資料の講義範囲を熟読し、次回の講義内容の概略を把握すると同時に、専門用語の意味等を調べておくこと（1時間）
授業時間外の学習 【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること（1時間）、また授業終了時に示す課題に取り組むこと（1時間）
課題に対する フィードバック	授業後のレポートや授業で示した課題については、提出された回答をいくつか取り上げながら、解説を行います。
評価方法・基準	①レポート：30点 ②学習態度・意欲：30点 ③課題：40点
テキスト	初回の授業にて指示をします。
参考書	・松本峰雄監修 『子どもの理解と援助 演習ブック』 2021年 ミネルヴァ書房 ・清水益治・無藤隆編著 『子どもの理解と援助』 2021年 北大路書房 その他、必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	